

## 書評 新刊 紹介



### PROMINENT PHYCOLOGISTS OF THE 20TH CENTURY

David J. Garbary and Michael J. Wynne (eds),  
Published by the PHYCOLOGICAL SOCIETY  
OF AMERICA. 360 pp. 1996.,  
ISBN 0-88999-636-9

本書はアメリカ藻類学会の50周年を記念して企画された、今世紀に活躍した世界の傑出した藻類研究者40人の列伝である。アメリカ藻類学会の発行ではあるが、ここで取り上げられた研究者（故人だけを扱っている）はアメリカに偏ることなく、広く世界を網羅して選ばれている。それぞれの研究者の伝記または回想録を寄稿するのはその研究者に師事した人、同僚、家族、個人的には関係がないけれどその研究者の業績と深く関わる研究をしている人、さらにはその研究者または業績に魅せられた人とさまざまである。編者らはこの本の刊行の準備をはじめた1年余り前から、本書にどの研究者を含めるかを非公式にであるが多くの国の藻類研究者に意見をもとめ、リストアップしたのちに寄稿者を決め、依頼したと聞く。そしてその後は時間の制約もあっただろうが、寄稿されたものを尊重しあまり編集の手を加えず、極めて短時間で本書をまとめ刊行したようである。そのためか章ごとにスタイルも実に多様だが、その統一のなさというか、自由さが成功して本書をとて面白い読み物にしている。それぞれの研究者の章は7,8ページくらいだが文章のほか、肖像かスナップ、藻類学への主要な貢献の簡単なまとめ、おもな業績と伝記のリストが含まれている。従ってテキストの分量としてはそれほど多くないし、また多くの場合、英語を母国語としない人が書いているので英語も平易であり、わりと簡単に読み通せてしまう。中には学会誌に載る追悼文とほとんど変わらない（どちらかという事務的な感じの）タッチのものもあれば、伝記読み物として仮にその研究者のことを全く知らなくとも楽しめるものもある。藻類学に長く関わっている人には個人的に、またはその研究業績を通して知っている研究者の新しい側面を知るおもしろ

さと、書き手の文章をあこれ論評するおもしろさがあるだろうし、学生や大学院生には手頃な（価格を含めて）英語の読み物として、また藻類学の歴史的な業績を学ぶ教材としておすすめできる。ちなみに本書の表紙は本書でも取り上げられている Geitler の水彩画が使われており、研究室の窓から眺めた陰鬱な雪の植物園の中庭が描かれている。一見すると藻類学と無関係だが、長い冬の間、暗くて寒い研究室で黙々と顕微鏡観察とスケッチをする北国の藻類研究者にはお馴染みの風景だろう。

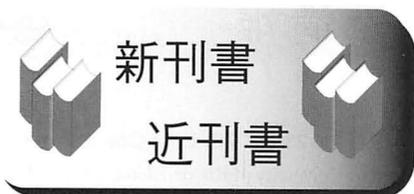
本書を入手するには以下の住所へ代金分（US \$25, 送料を含む）の小切手 (check) または送金為替 (money order) を送ればよい。

Lancelot Press  
P.O. Box 425, Hantsport  
Nova Scotia, CANADA  
BOP 1P0

本書で取り上げられた藻類研究者と寄稿者 [( ) 内]

L. Geitler (E. I. Friedmann), F. E. Fritsch (J. W. G. Lund), J. Woloszynska (J. Sieminska), H. L. Skuja (T. J. Entwisle), F. C. Hustedt (F. E. Round), A. Pascher (D. Mollenhauer), M. O. P. Iyengar (T. V. Desikachary), M. A. Pocock (J. R. Stein-Taylor), G. M. Smith (F. D. Ott and D. E. Wujek), M. Parke (G. Boalch), G. W. Prescott (R. W. Hoham), W. A. Setchell and N. L. Gardner (R. L. Moe and D. Browne), K. Okamura (M. Chihara), F. Børgesen (A. Kristiansen), Y. Yamada (M. Tatewaki), H. Kylin (M. D. Guiry and H. Nyberg), G. F. Papenfuss (J. A. West), A. B. Joly (E. C. Oliveira), E. Y. Dawson (M. W. Hawkes), W. R. Taylor (M. J. Wynne), J. E. Tilden (G. I. Hansen), K. Starmach (J. Sieminska), J. Schiller (O. Schiller), T. Braarud (G. R. Hasle), M. Neushul (R. L. Lewis), A. A. Korshikov (A. M. Matvienko and T. V. Dogadina), K. M. Drew Baker (G. Michanek), J. Feldmann (F. Magne), P. Kornmann (K. Lüning), P. S. Dixon (S. Murray), L. A. Pfeister (K. Steidinger and D. Fink), J. Hämmerling (S. Berger), E. G. Pringsheim (G. E. Fogg), H. A. von Stosch (W. Wehrmeyer), H. C. Bold (R. C. Star), R. W. Hoshaw (R. M. McCourt), L. Provasoli (J. T. Lehman and D. A. Lehman), B. M. Sweeney (Herman), I. Manton (Ø. Moestrup). (掲載順, 敬称略)

川井浩史 (神戸大学内海域センター)



### 陸上植物の起源 緑藻から緑色植物へ

リンダ・グラハム著, 渡辺 信・堀 輝三 (共訳), 1996年, 内田老鶴園, 定価 4944円 (本体 4800円), ISBN4-7536-4090-6

生物の種多様性 バイオディバーシティシリーズ1  
岩槻邦男・馬渡峻輔 (編集), 1996年, 裳華房, 定価 4120円 (本体 4000円), ISBN4-7853-5824

### 原色日本海藻図鑑 増補版 (1996)

山田幸男 (序), 瀬川宗吉 (著), 定価 5,200円, 保育社, ISBN 4-586-30018-3

今回の増補版には, 北海道大学吉田忠生氏による学名変更などに関する補遺が巻末に付されている。

### 小さな生命の大きな仕事 What's Micro Algae?

竹中裕行 (著), 史輝出版, 定価 1,200円, ISBN4-915731-76-6

### 藻食民族の文化～歌に詠まれ文様・色名に使われ食べられてきた海藻

澤田 威 (著) 129ページ, 自費出版 (連絡先: 420 静岡市城東町 6-5 Tel. 054-246-6777)

### Index to Chromosomes of Japanese Pteridophyta

高宮正之 (編) 日本シダ学会

注文先: 〒112 東京都文京区白山3-7-1 東京大学理学部附属植物園 日本シダ学会 加藤雅啓

価格: 1,310円 (送料込み)

送金先: 郵便振替 (日本シダ学会 00150-3-160243)

シダ学会からのコメント: 日本シダ学会発行による, 日本で初めてかつ完全なリスト。日本のみならず世界のシダ研究者および様々な分野の研究者に利用されることが期待される。

### Cytology, Genetics and Molecular Biology of Algae.

B.R. Chaudhary and S. B. Agrawal (eds.), SPB Academic Publishing bv, Amsterdam, 1996, \$145, ISBN90-5103-126-2

### Prominent Phycologists of the 20th Century, David J.

Garbary and Michael J. Wynne (eds), Published by the PHYCOLOGICAL SOCIETY OF AMERICA. 360 pp. 1996., ISBN 0-88999-636-9 (入手方法は書評を参照)

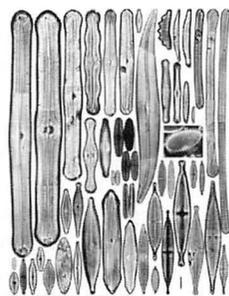
### Algal Ecology, An Overview. A. N. Kargupta and E. N.

Siddiqui (eds.), 440 pages, line illus, figs., 1996, Country of Publication: India およそ 53.5 ポンド

### Silicoflagellates (Dictyochophyceae), T. V. Desikachary

and P. Prema, Series: BIBLIOTHECA PHYCOLOGICA, 100, 298 pages, 83 plates. Gebrüder Borntraeger, Germany, 1996

### 表紙写真 (小林玲子さんの許可を得て掲載)



私の担当になる最後の号の表紙の写真に何をしようか迷っていたが, 本号に掲載の小林弘先生の追悼文や国際珪藻学会の準備, 開催の記事を編集していて, ふとわが家の壁に掛かっている珪藻の額縁を思い出した。小林先生のご退官の記念の品である。東京学芸大学を退官された1989年までの間に先生と教え子の方々が発見し記載した珪藻の数々が並べられている。本号の表紙にはこの写真がふさわしいように思えた。日本歯科大の南雲さんを通じて, 奥様の玲子夫人に掲載の許可をお願いしたら, 快くお許しをいただいた。実習が重なって私はお葬式にも行けなかった。私情を交えたような選定で恐縮だが, なかなか見栄えのする表紙になったと思う。

井上 勲